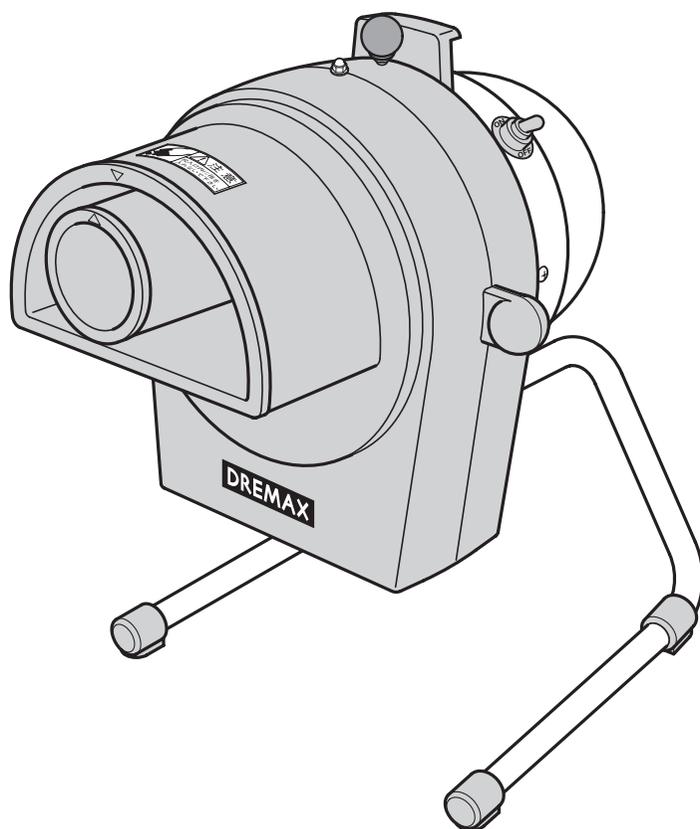


DREMAX

保証書付

マルチスライサー DX-100

取扱説明書



もくじ

- このたびは、**DREMAX マルチスライサー DX-100** をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分にご理解ください。
- 取扱説明書はお読みになられた後、いつでもお手元においてご使用ください。
- 保証書は取扱説明書の裏表紙に記載しております。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

| | |
|----------|-----|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 各部のなまえ | 3 |
| 正しい使い方 | 4 |
| 丸刃のはずし方 | 6 |
| 丸刃の研ぎ方 | 7 |
| 厚み調整のしかた | 9 |
| お手入れ方法 | 10 |
| 仕様 | 裏表紙 |
| アフターサービス | 裏表紙 |
| 愛情点検 | 裏表紙 |
| 保証書 | 裏表紙 |

安全上のご注意

- ご使用になる前に内容をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|--|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害※の発生が想定される内容を示します。 |

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

| | |
|--|--|
|  刃物注意 | △は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意事項は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"刃物注意"を示します。 |
|  分解禁止 | ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"分解禁止"を示します。 |
|  プラグを抜く | ●は、強制（必ずやること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"プラグを抜くこと"を示します。 |

警告

| | | |
|--|---|---------------------|
|  使用禁止 | 本取扱説明書の記載内容が理解できない人は本機を使用しないでください。 | 事故の原因になります。 |
|  分解禁止 | 修理技術者以外は、絶対に修理・改造をしないでください。 | 火災・感電・けがの原因になります。 |
|  刃物注意 | 丸刃は鋭利ですので刃先の部分には絶対に手を触れないでください。特にお手入れや丸刃の交換の際は十分に注意してください。 | けがの原因になります。 |
|  水濡れ禁止 | 本体を水に浸したり、保護スイッチなどの電源部に水をかけないでください。 | ショート・感電・故障の原因になります。 |
|  禁止 | 運転中に本体から各ユニットをはずさないでください。 | けが・破損・故障の原因になります。 |
|  プラグを抜く | 各ユニットの取り付け・取り外し、お手入れ、丸刃の交換をする際は、必ずスイッチを切り、機械が停止していることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 | けがの原因になります。 |
|  接触禁止 | 運転中は危険ですので投入口に手を入れないでください。 | けがの原因になります。 |

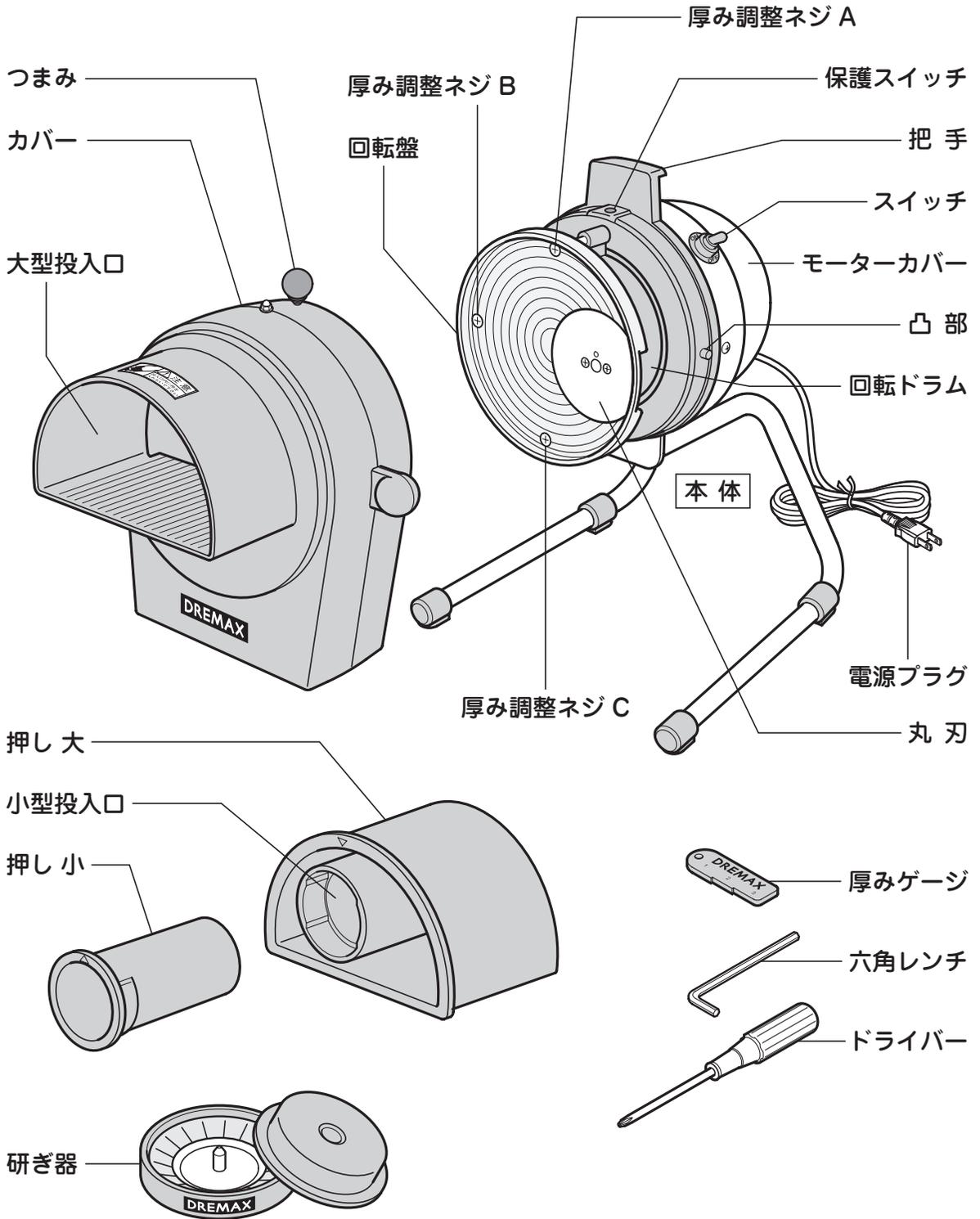

警告

| | | |
|--|--|-------------------|
|  <small>禁止</small> | 運転中に本体を移動させないでください。 | けが・破損・故障の原因になります。 |
|  <small>禁止</small> | 保護スイッチを細い棒などで押さないでください。スイッチが入っていた場合、回転部が作動して危険です。 | けがや故障の原因になります。 |
|  <small>禁止</small> | お子様に使用させないでください。また、作業中に近づけないでください。 | 火災・感電・けがの原因になります。 |
|  <small>強制</small> | 必ず、作業の開始前と終了時に刃物の状態を確認してください。万一、作業中に刃が欠けた場合は、カットした全ての食材を捨ててください。 | けがの原因になります。 |


注意

| | | |
|--|--|--------------------------|
|  <small>禁止</small> | 不安定なところでは使用しないでください。 | 機械の転倒による破損やけがの原因になります。 |
|  <small>禁止</small> | 交流 100V（定格）以外では使用しないでください。 | 火災・感電・故障の原因になります。 |
|  <small>禁止</small> | モーター連続使用時間（常温の場合 30 分）を経過後、一度スイッチを切り、30 分後に再作動させてください。 | 故障の原因となります。 |
|  <small>プラグを持つ</small> | 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。 | ショートや感電して発火する恐れがあります。 |
|  <small>強制</small> | 電源プラグの抜き差しは、機械が停止していることを確認してからおこなってください。 | 破損・故障・けがの原因になります。 |
|  <small>禁止</small> | 電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引き抜いたりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだり、ガスコンロなどの熱源に近づけたりしないでください。 | コードが破損し、火災・感電の原因になります。 |
|  <small>使用禁止</small> | 電源コードが傷んでいたり、電源プラグのコンセントへの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。 | ショート・感電・発火の原因になります。 |
|  <small>プラグを抜く</small> | ご使用の時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 | 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。 |

各部のなまえ



正しい使い方

※ 本機を初めて使用する場合は、ご使用になる前に必ず「お手入れ方法」(10 ページ) を参照して清掃してからお使いください。

運転中、停電になった時は、電源が復旧する前に、必ずスイッチを「OFF」にし、復旧してから、スイッチを「ON」にしてご使用ください。

1 本体にカバーを取り付ける

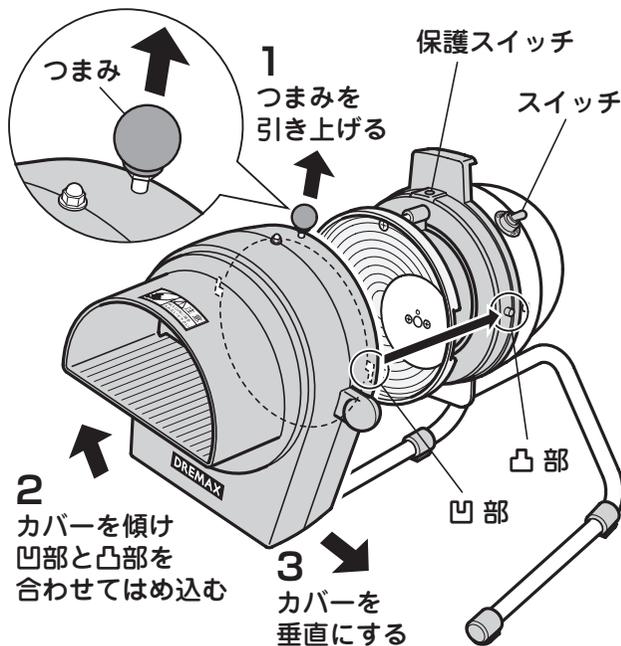
※ カバーを取り付ける際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

① つまみを引き上げ、カバーを傾けて本体の凸部にカバー背面の凹部を合わせてはめ込みます。

② カバーを垂直にし、本体とズレが無いようにしっかりと固定します。
このとき、つまみが保護スイッチにセットされているか確認してください。

※ 安全のため、カバーがはずれると保護スイッチが働いて作動しません。
カバーは正しく装着してください。

※ カバーを取り外した状態で本体が作動する場合は、保護スイッチの異常です。
使用せずに販売店にご連絡ください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

○ スイッチが「OFF」になっていることを確認してから差し込んでください。



水濡れ禁止



警告



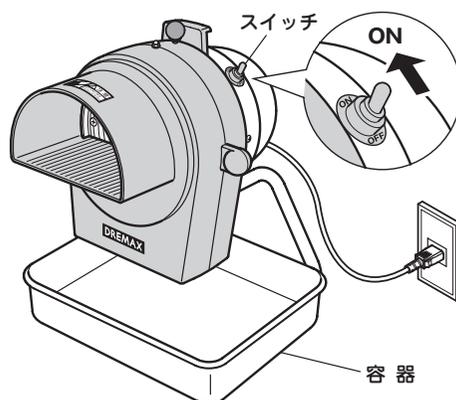
水濡れ禁止

濡れた手で電源プラグを差し込まないでください。感電の恐れがあります。
必ず電源プラグの本体を持って抜き差ししてください。感電の恐れがあります。

3 容器を置き、スイッチを入れる

○ 短時間で大量の食材をカットしますので大きめの容器を用意してください。
(目安: 400 × 500 × 120 mm)

○ 厚みは 1 mm に設定してあります。
変更する場合は、厚みゲージを使用して調整してください。
(9 ページ「厚み調整のしかた」参照)

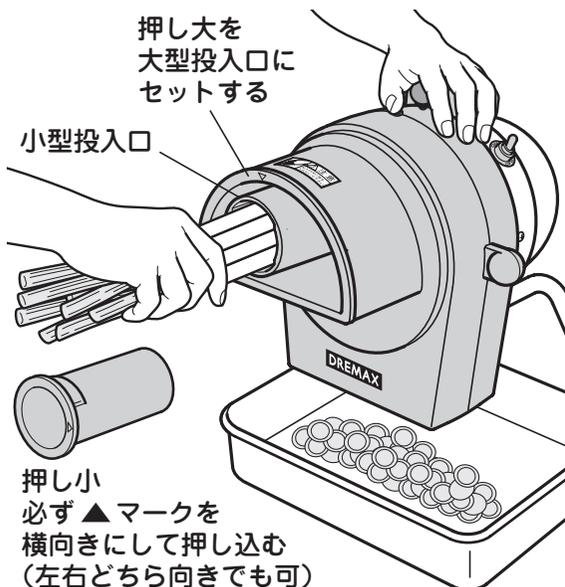


4 食材をスライスする

長ネギ・キュウリ・ピーマンなど

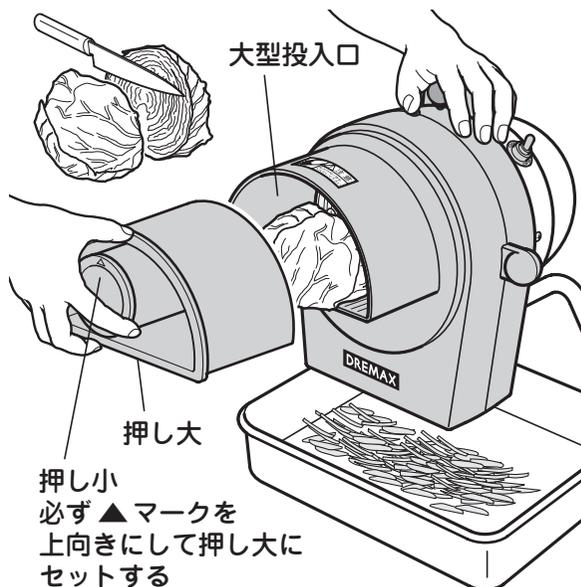
- ① 押し大を大型投入口にセットします。
- ② 片手で機械を支えながら、小型投入口に食材を押し込んでください。

※長ネギなどの長い食材は、図のように手で持って小型投入口に食材を押し込んでください。短くなった食材や小さい食材は押し小を使って押し込んでください。



キャベツ・レタスなど

- ① あらかじめ食材を半分に切り、芯を取り除いてください。
- ② 押し大に押し小をセットします。
- ③ 食材を大型投入口に入れます。
- ④ 片手で機械を支えながら押し大を使って食材を押し込んでください。



◎ 食材を強く押し込むと厚めに、弱く押し込むと薄めにスライスすることができます。



接触禁止



強制

危険ですので、投入口には絶対には手を入れないでください。
投入口の中の食材を押し込むときは必ず押しを使用してください。

丸刃は鋭利な薄い刃物ですので取り扱いには十分ご注意ください。
また、作業の開始前と終了時に刃の状態を確認してください。万一、作業中に刃が欠けた場合は、カットした全ての食材を捨ててください。けがの原因になります。

5 作業を終えたらスイッチを切り、電源プラグを抜く

警告



水濡れ禁止



プラグを持つ

濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

必ず、プラグを持ってコンセントから抜いてください。
コードを引っ張ると破損の原因になります。



丸刃のはずし方

警告



必ず、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。



丸刃の取り外し（取り付け）をする際は、食材の入った容器を本体の下に置かないでください。異物混入の原因になります。



丸刃は鋭利な刃物です。取り扱いには十分ご注意ください。

- ① カバーを取り外します。
つまみを引き上げ、カバーを傾けて本体からはずしてください。
- ② 丸刃が回らないように丸刃取付カラーの六角穴（イモネジ）に付属の六角レンチを差し込んで押さえてください。（図1）
- ③ 付属のドライバーで丸刃のネジ2本をゆるめてください（図1）
- ④ 丸刃を指先でつまんで支え、丸刃のネジ2本を取り外してください。（図2）
- ⑤ 丸刃を手前にずらして回転盤との隙間を開けて、もう一方の手で丸刃をつまんで前方にはずしてください。（図3）

警告



丸刃を落とさないよう慎重におこなってください。
刃が欠けたり、けがの原因になります。

－丸刃の取り付けについて－

- ※ 取り付ける場合は、はずし方の逆の手順でおこなってください。
- ※ 取り付ける際、丸刃と丸刃取付カラーの接触面をきれいにしてください。汚れや小さなゴミが挟まれていると丸刃が回転中にブレを起こしてしまいます。また、2本のネジは均等に締め付けて、しっかりと固定してください。

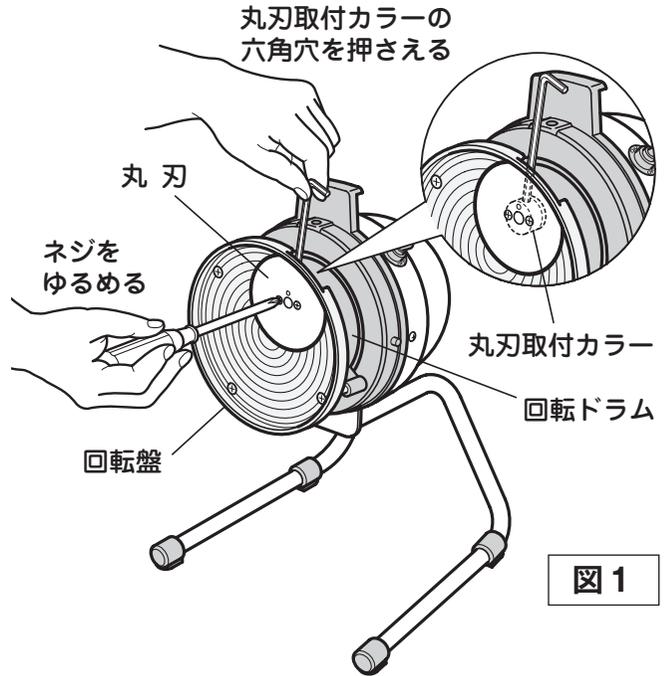


図1

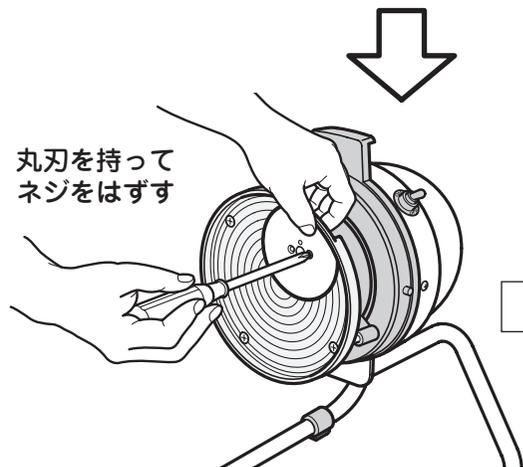


図2

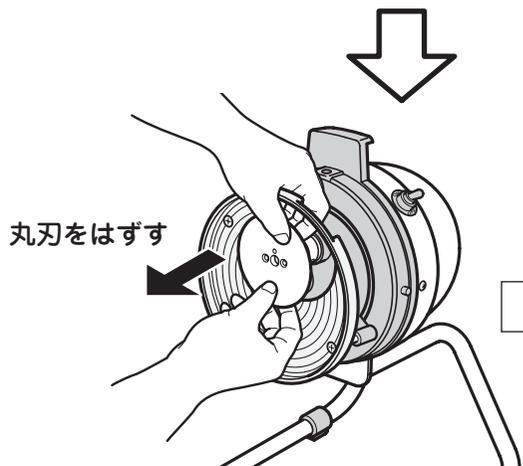


図3

丸刃の研ぎ方

切れ味が悪くなった場合は、付属の研ぎ器を使って丸刃を研いでください。

1 本体から丸刃をはずす

※はずし方は6ページの「丸刃のはずし方」を参照してください。

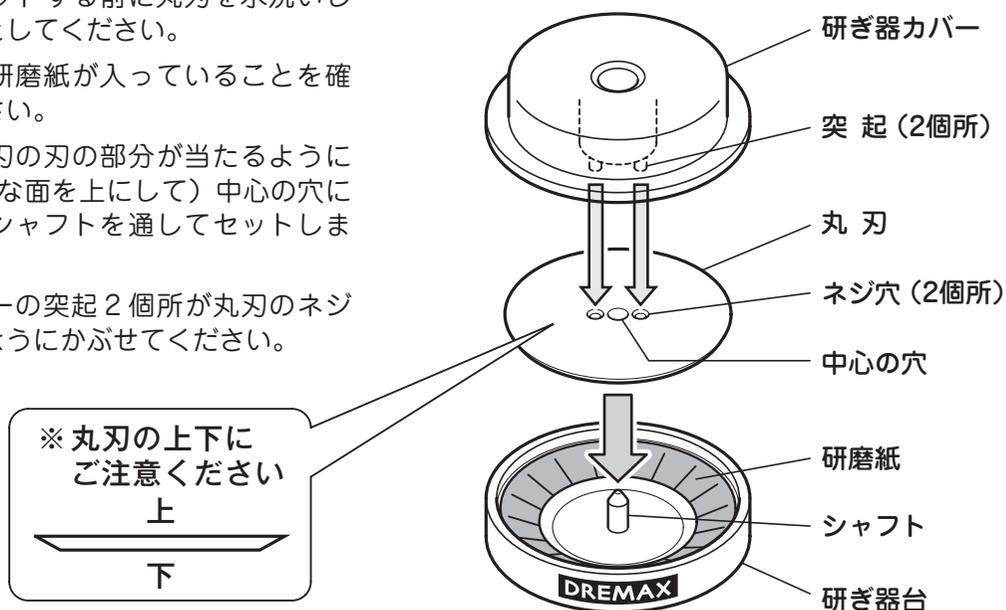
2 研ぎ器に丸刃をセットする

※研ぎ器にセットする前に丸刃を水洗いして汚れを落としてください。

※研ぎ器台に研磨紙が入っていることを確認してください。

①研磨紙に丸刃の刃の部分当たるように（丸刃の平らな面を上にして）中心の穴に研ぎ器台のシャフトを通してセットします。

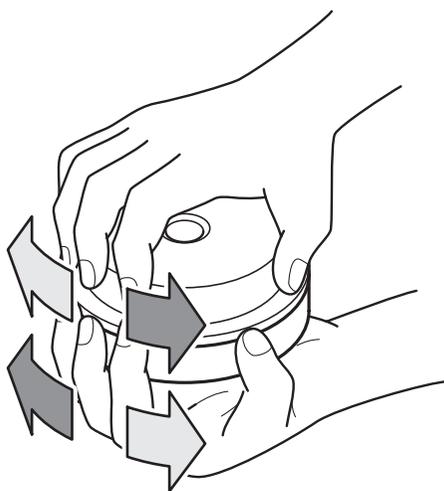
②研ぎ器カバーの突起2個所が丸刃のネジ穴にはまるようにかぶせてください。



3 研ぎ器台と研ぎ器カバーを逆方向に往復回転させる

◎図のように研ぎ器を持ち、研ぎ器台と研ぎ器カバーを逆方向に往復回転させて丸刃を研いでください。

※2～3回の往復回転で切れ味が良くなります。



⚠ 注意



研ぎすぎると切れ味が低下しますのでご注意ください。

強制

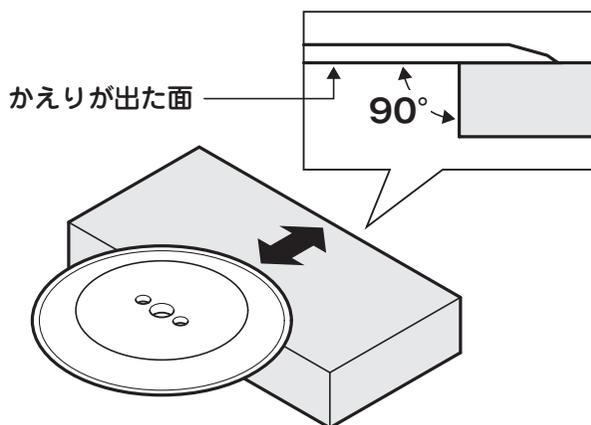
4 かえりが出た場合

◎丸刃の上面（平らな面）にかえりが出た場合は、市販の砥石で取って下さい。

⚠ 注意



研ぎ方を誤って両刃になってしまいますと、まったく切れなくなりますのでご注意ください。



5 丸刃を洗って、本体に取り付ける

⚠ 注意



研いだ丸刃は取り付ける前に必ず、水洗いしてください。洗わずに使用すると、異物混入の原因になります。

⚠ 警告



丸刃は鋭利な刃物です。取り扱いには十分ご注意ください。
丸刃を落とさないよう慎重におこなってください。
刃が欠けたり、けがの原因になります。

－ 丸刃の交換について －

丸刃を研ぎ器で研いでも切れ味が良くならない場合、当社に丸刃をお送りいただければ有償にて研磨いたします、刃が欠けてしまった場合は、新しい丸刃（別売品）と交換してください。

くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

厚み調整のしかた

1 厚みゲージをあてながら厚み調整ネジを回す

※調整前、スイッチをOFFにして電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

※厚み調整をする際は、本体から丸刃を取り外してください。
はずし方は6ページの「丸刃のはずし方」を参照してください。

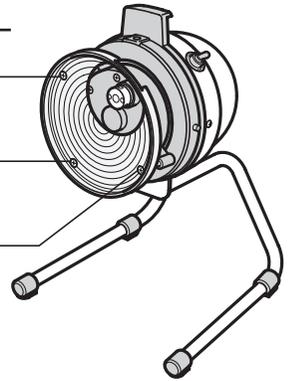
○回転盤と回転ドラムの上に厚みゲージをあてて調整します。

※厚み調整ネジA・B・Cそれぞれの位置に厚みゲージをあてて回転盤と回転ドラムの間隔を3箇所とも同じ幅にしてください。

厚み調整ネジA

厚み調整ネジB

厚み調整ネジC



⚠ 注意



強制

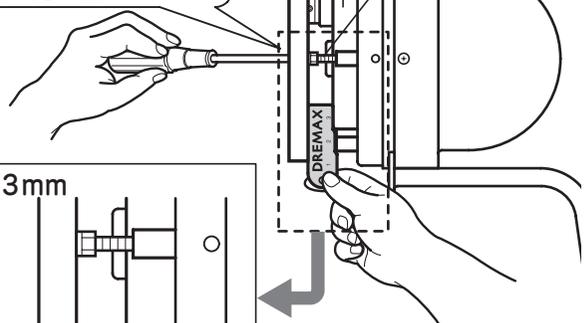
丸刃の面よりも回転盤を出さないでください。きれいにスライスできません。また、回転盤が投入口に接触して回転しなくなり、故障の原因になります。

薄く 厚く

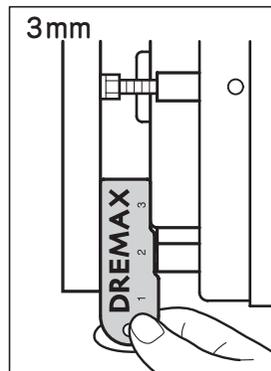
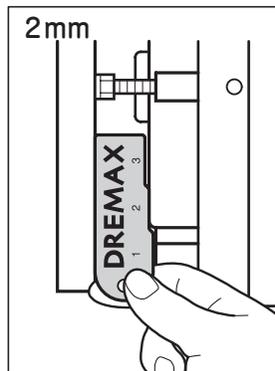
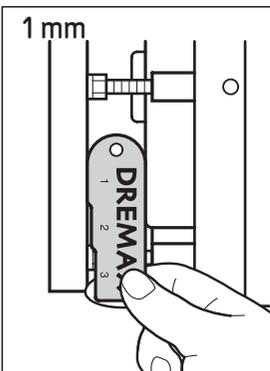


ネジ3箇所それぞれに厚みゲージをあてて全て同じ幅にする

回転盤 回転ドラム 厚み調整ネジ



厚みゲージ



⚠ 注意



強制

設定する厚みにより厚みゲージの向きが異なりますのでご注意ください。

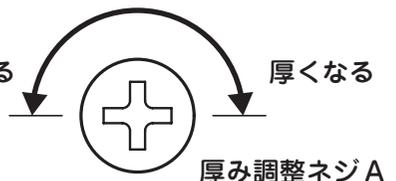
2 微調整をする

○1mm以下の調整は、厚み調整ネジAのみでおこないます。

○半回転で約0.5mmの厚さが変わります。

例：厚みゲージで厚さ1mmに設定しているとき、厚み薄くなる調整ネジAを左に半回転させると厚さ0.5mmになります。

半回転で約0.5mm



お手入れ方法

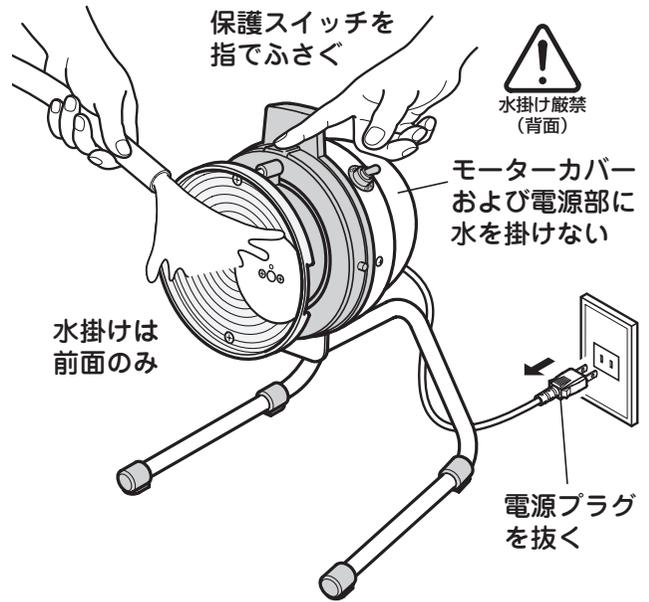
ご使用後は、付着した食材が乾いてこびりつく前に記載どおりの手順できれいに洗浄して取り除いてください。

食材の洗い残しが故障の原因になることがあります。手入れ不足が起因する故障の場合、有償修理となります。

- ①必ず、スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②カバーを取り外します。
つまみを引き上げ、カバーを傾けて本体からはずしてください。
- ③投入口内に残った食材は、カバーをはずしてから取り除いてください。
- ④前面上方向から水掛洗いをしてください。
※保護スイッチに水が入らないように指でふさぎながらおこなってください。
- ⑤本体を乾いた布等できれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

強制 お手入れの際、落下、転倒などの大きな衝撃を与えないでください。
故障の原因になります。



⚠ 警告

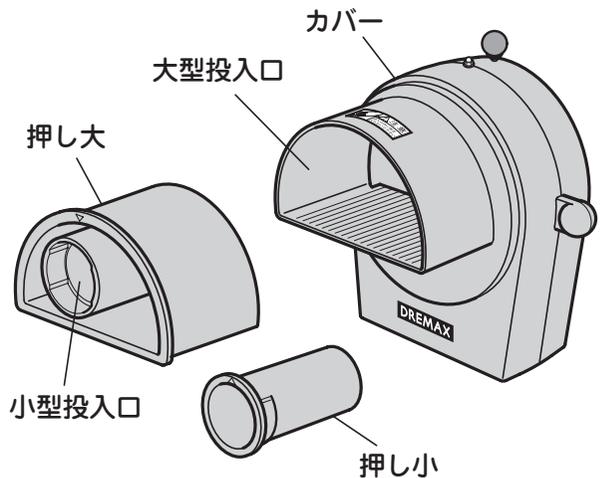
水濡れ禁止 保護スイッチの周囲に付着した食材や水は、すぐに拭き取ってください。

禁止 保護スイッチをテープなどで被わないでください。
故障や異物混入の原因になります。

禁止 保護スイッチを細い棒などで押さないでください。万一、電源が入った状態ですと回転部が回って、けがや故障の原因になります。

水濡れ禁止 本体の下やモーターカバー（背面）から水を掛けたり、水の中に浸さないでください。
感電や故障の原因になります。

- ⑥カバー、押し大、押し小を水洗いしてください。
※各投入口内に食材の洗い残しがないようによく洗ってください。
- ⑦洗浄後は水気をよく拭き取り、はずした部品を正しく取り付けてください。



※上記④で、丸刃、回転盤、回転ドラム周辺に付着した食材や汚れが落ちない場合は、丸刃をはずしてブラシ等を使って洗ってください。

※丸刃のはずし方は6ページの「丸刃のはずし方」を参照してください。

